

分野 【テーマ】	現状・課題		分野別の目指す将来像	目指す将来像を実現するための必要な取り組み	
				既存の取り組み	話し合いの場でも出された意見(一部抜粋)
交流 つながり 行事・伝統 情報発信 自治会 後継者	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会活動に力入れてる(諦めずに継続して続けている) ●世帯数の減少 ●自治会の加入率が低い・退会していく ●自治会の見える化ができていない ●役員固定化(長年同じ人が役員をしている)、後継者不足(次のリーダーがいらない) ●人が良い、人の付き合いが良い ●地域のつながりが強い ●世代、性別を超えた繋がりが少ない ●子育て世代が少ない、交流もない 	<ul style="list-style-type: none"> ●行事・活動の案内がない、連絡先を集められない(プライバシーの問題) ●地域のイベント情報が高齢者に届かない。参加したいけど可否が分からない ●昔のように地域対抗のソフトボール大会ができないか？ ●イベントは多くある(団地夏祭り・おくんち・鬼火など) ●おみず荘がなくなった(集まる場所・交流の場がなくなった) ●夏祭りが賑やかで楽しい ●祭りやイベントを増やしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●かっちえて輝くまちづくり ●異世代間の交流 	<ul style="list-style-type: none"> ●もちつき大会(団地) ●門松づくり(ふれあいセンター) ●敬老会 ●小ヶ倉くんち ●鬼火 ●夏祭り(団地) ●大山健康ハイキング ●自治会会長会 ●班長会 	<ul style="list-style-type: none"> ●SNSの活用(情報発信) ●SNSでの情報がいきわたるようにスマホ教室を開催する ●メリット<SOS ●自治会に入ることによって良かったことの共有、情報発信 ●自治会より入りやすい何か(グループ?)をつくる ●自治会役員の活性化イベント等を開催。若い人が役員に参加したいと思うように ●近隣の人との絆を深める(村八分はダメよ!) ●井戸端会議ができる場所をつくる(特に高齢男性) ●SNSを通じて繋がり、情報発信する ●回覧板を工夫する ●地域に戻ってきた若い世代へ声かけ ●イベントを学校の行事に合体させ、若者の参画につなげる ●空アパートを活用(公務員アパートの跡地活用) ●地域全体で小ヶ倉地区の夏祭りを開催する ●たけのこハイキング
防犯 防災 防犯 防災 空き家	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所が少なく不安 ●避難経路を決めていない ●指定避難所への移動が大変、行きにくい、遠い(団地・新小が倉) ●避難所が警戒区域内にある ●消防団員の不足 ●道路に草が覆い茂っていて暗い・見通しが悪く危険 ●街灯が少ない(大山・団地) ●旧道が暗い ●歩道が狭い・雑草が生えて歩きにくい ●たまにはパトカーでも用心のため見回りに通ってほしい ●団地内の道幅が狭く車がスピードを上げ危険 	<ul style="list-style-type: none"> ●事故多発(小ヶ倉交差点・ダイヤモンド入口交差点) ●バイクが入り込んでくる、自転車が交通量多い時の歩道をとばす ●交通量が多く、登下校が心配 ●信号のタイミングが変更となり、横断歩道を渡っている子ども達に車が突っ込んでくる ●防災マップの活用ができていない ●救急車が入ってこれない ●人家が少なく、人通りも少なく不安(大山) ●空き家に泥棒が入った ●空き家が台風の後などに家が崩れて危ない ●空き家、空アパートが増えている 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害・犯罪に対して安心安全に生活できる ●地域のつながりを深め、現状を共有し、自分たちの街は自分たちで護る 	 <ul style="list-style-type: none"> ●危険箇所の記録 ●交通指導員の立哨 ●防災マップの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害に備えた準備が必要 ●家庭にも災害グッズの準備を! ●人の支え合い(コミュニケーション)を大切に! ●マンションと協定を結んで臨時避難所とする ●避難訓練を自治会単位で行う。経路も防災マップをもとに確認 ●一時的な避難所を増やす ●地域の事業所に消防団に入ってもらう ●災害時の独居老人に対する連絡を決める ●街灯を増やす要望を進める ●警察に要望、看板などで啓発 ●パトロールの回数を増やす ●防災さくを開催し、近所を歩いて危険箇所の把握をして、防災マップの見直しを行う ●家屋を調査、把握、わかる範囲で連絡する ●空き家になったらどうするのか、事前に考えておく(終活のような) ●空き家の活用(ジビエ料理の提供) 
生活環境 自然 鳥獣対策 働く場 利便性 (交通・店)	<ul style="list-style-type: none"> ●ノラ猫にエサをやる人がいて困っている ●イノシシが家の中に入ってくる、庭先まで出る ●イノシシを見慣れてしまっている(対応ができない) ●イノシシが原因による事故が起こっている ●鹿が植木を食べる ●交通の便がいい ●公共施設がある ●公共交通機関がない、免許返納できない ●バスの便数が減少した ●店が減った(コンビニ・スーパーはある) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ゲームセンター、駄菓子屋がほしい ●買い物弱者への対応 ●釣りが推せる ●自然環境、景色が良い。眺めが最高。夕陽が綺麗。 ●ゴミの不法投棄が多い ●働く場の減少 ●工場からの粉塵がひどい ●行政サービスの低下(おみずそう再建) ●人は減っているのに土地が空かない ●設備・環境面を変えていくのは個人では難しい! 	<ul style="list-style-type: none"> ●人と人との絆を深められる地域づくり ●人と自然にやさしい安心して生活できる環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ●イノシシ対策(箱わなの設置) ●買い物代行 	<ul style="list-style-type: none"> ●イノシシ対策としてワイヤーメッシュを設置 ●自治会で対策会議をする ●情報共有・講習 ●通学路での子どもたちへの対策を考える ●大山地区に乗合タクシーができないか。 ●コミュニティバスの要望 ●買い物代行の活用 ●ゴミの不法投棄の注意喚起をする ●企業に申し入れる 
福祉 子育て 高齢者 子ども 遊び場	<ul style="list-style-type: none"> ●子供が少ない、子供の減少 ●人口減少、少子高齢化 ●人が減った(子供が減った) ●子供が少ないためクラブ活動に支障をきたす ●子供の遊び場、公園がない ●小ヶ倉公園がせまい ●公園の遊具がない ●学童を小学校の空き教室を利用してできないか 	<ul style="list-style-type: none"> ●子育ての為に若い人が住めない ●家を建てる土地の整備をしてほしい ●地域活動に参加する負担がある ●高齢者が多いが、皆さんともお元気でしっかりされている方がいる ●高齢者が多い地域の特性を考えた町づくり(緊急車両が入れる道路)(街灯など防犯・安全面の整備) ●独居の老人が増えている 	<ul style="list-style-type: none"> ●世代間の交流があり、子育てしたい町 	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校の社会体育(バスケット・陸上) ●ラジオ体操 ●認知症サポートの取り組み ●高齢者サロン(健康相談・太極拳・味噌づくり)(上揚) 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域活動についてSNSでも発信 ●既存の活動にみんなが参加できるように既存の社会資源を有効活用 ●スポーツ少年団の異種目体験会を実施 ●軽スポーツで世代間交流 ●習い事の情報が欲しい ●高齢者が散歩のときに子どもの見守りをする ●スマホ教室を開催する ●あいさつ運動で高齢者を見回る 